

製品名: CD8 α ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21584**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:26kD;Observed MW:35kD

抗原情報

遺伝子名	CD8A MAL
別名	T-cell surface glycoprotein CD8 alpha chain;T-lymphocyte differentiation antigen T8/Leu-2;CD antigen CD8a;
遺伝子 ID	925.0
SwissProt ID	P01732
免疫原	ヒト CD8α の合成ペプチド

背景

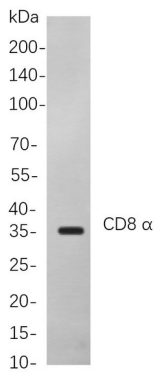
細胞局在: 膜性。CD8 抗原は、ほとんどの細胞傷害性 T リンパ球に見られる細胞表面糖タンパク質であり、免疫系における効率的な

細胞間相互作用を媒介する。CD8 抗原は、T リンパ球上の T 細胞受容体と共受容体として機能し、抗原提示細胞がクラス I MHC 分子の枠組みで提示する抗原を認識する。共受容体は、2つの α 鎖からなるホモ二量体、または 1つの α 鎖と 1つの β 鎖からなるヘテロ二量体として機能する。 α 鎖と β 鎖はどちらも、免疫グロブリン可変軽鎖と高い相同性を有する。この遺伝子は CD8 α 鎖をコードしている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2011 年 11 月]

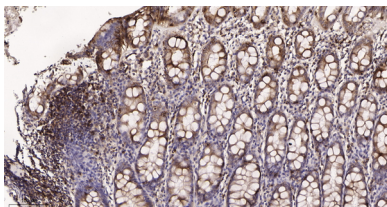
研究分野

-

画像データ



CD8 α ウサギ mAb を用いたマウス胸腺細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト結腸組織の免疫組織化学分析。1、CD8 α ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈した (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用した (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。